

### 絵本作家(画家?)への道のり

デュフォ恭子 外国語学部イスパニヤ科 1993年度卒業

私がイスパニヤ科を選んだのは、外国語学部の卒業生は就職しやすいと言われたことが理由の一つです。子供の頃から絵を描くことが好きでしたが、絵は趣味で続けていく、という選択をしました。在学中は、はつきりと就職先を絞ることができないまま過ごしていました。

しかしメキシコ留学を機に海外に住んでみたいと思うようになり、どうしたら海外に住むことができるかを考えるようになりました。それほど留学経験は刺激と興奮に満ちていました。

卒業後、青年海外協力隊に応募し2年間カンボジアへ行く機会を得ます。プンベンでの滞在中、フランスへ行くきっかけをつくってくれた友達や夫との出会いがあったことは幸運としかいようがありません。教育省で出会ったフランス人に絵を認められ押しの仕事をしたことから、絵を描く職業につきたいという気持ちが高まり、美術大学へ行く決心をします。協力隊の終了後は美術留学のために渡仏をしました。アカ



大学卒業後、青年海外協力隊でカンボジア教育省青年総局にて2年間勤務。その後パリに留学、美術学校ESAGにて絵画・グラフィックデザインを学ぶ。夫の赴任でコートジボワールに5年滞在。絵本の挿絵、装丁の他、動画も制作する。現在パリ在住。主な仕事に「地雷と難民(原土文化)」「Fait d'hiver en Laponie」(Tourbillon)「Haiti」(NE)「ひいすけのそら」(チャイルド)「かぼのちんどんやさん」(清流出版)など。www.dufukyoko.com

デミージュリアンへ通い、ピンポイントギャラリー絵本コンクールで最優秀賞を受賞。その後、フランス、日本、アメリカで絵本の出版を果たします。けれども、どんなに描き続けていても安定した収入を得るには至っていません。今も毎日、営業と制作に奮闘中です。異文化を知る楽しみを教えてくれた南山大学に感謝をしています。



### Special events

7.10

#### 国際連合広報センター 広報官による講演

国際舞台での活躍やキャリアを考えている本学学生を対象とした、妹尾靖子広報官による講演が行われました。国際連合での勤務の実態や国際公務員への道についてお話しいただき、学生は真剣に講演を聞いていました。



7.21

#### オープンキャンパス

オープンキャンパスが名古屋キャンパス・瀬戸キャンパスで開催され、両キャンパス併せて6,107名の方にご来場いただきました。猛暑の中、開会式・オリエンテーションから多くの方にご参加いただき、模擬授業や相談コーナーのほか、クラブパラダイスなども大盛況でございました。



7.20・8.3-4

#### 連続講座「大学で、未来の自分を探してみよう！」

南山大学の知的財産を地域に還元する事を目的として小学校4年生～6年生までを対象とした連続講座「大学で、未来の自分を探してみよう！」(全5回)を開催しました。第4回目の「わくわくロボット」では、学生達が制作したロボットを実際に小学生が動かしたりしてものづくりの面白さを知ってもらいました。参加した小学生からは「とても楽しかった!」などの感想をいただきました。



7.31-8.6

#### 経営学部の石垣ゼミ生が、今年も飲食店とコラボレーション

南山大学経営学部の学生と豊田市のベーカリーカフェ「Tres Tres Bon!」(トトレボン)が、昨年に引き続きパンの共同開発に取り組みました。大学の授業で学んだ事目に見る形で実践したいという学生の思いから始まったこの企画では、実際に「Tres Tres Bon!」の利用者にアンケート調査を行うなど昨年よりもマーケティングリサーチに注力。パンが食べられる時間帯や購入層に好まれる条件を考慮して作られたクロワッサンなど4種類を商品化し、豊田市の松坂屋で販売しました。



### 活躍する南山大生の声

#### 努力で夢を掴む!

可児 愛佳 (外国語学部英米学科 3年)



私は、少林寺拳法を5歳で始め、道場に通っていますが、大学生としてより多くの経験を積みみたいと思い少林寺拳法部に入部しました。昨年11月の全日本学生大会においては単独演武有段の部で念願の第1位になり、今年は東海学生大会で女子の同種目において第1位、また愛知県大会では父と出場した一般男女有段の部において優秀賞(第2位)を頂きました。しかし2位であった悔しさをバネにし、辛い練習を重ねながら、8月に大阪で開催された世界大会に父と共に臨みました。

少林寺拳法と聞くと、あまり馴染みがなく、また武道であるということから敬遠されがちですが、少林寺拳法は、戦うことや相手を攻撃して傷つけることを目的としておらず、一つの護身術であり、人づくりのための「行」なのです。力の強さではなく、自分と相手の体を上手く使うことで技を行うので、女性でも気軽に始められます。また、技

の修練を通して体の仕組みを学べるため、自分の体のことがよく分かり、日常生活での姿勢がよくなったり、健康的な体を維持できるようになります。さらに、社会での人との接し方やマナー、人生においての心構えも学べるため、大学生の皆さんにもおすすめです。

私は、大学生生活における目標の1つとして、留学を掲げていました。交換留学の認定をされるために大学の授業も頑張りました。またIELTSを7回程諦めることなく受け続け、晴れて交換留学生として採用され、今年9月よりずっと憧れていたイギリスのエディンバラ大学で学んでいます。

人に感動を与えることに関心を持っているので、将来は小さい頃からの夢であるティズニーに関わる仕事に就き、感動と夢を分かち合いたいのです。今後も、私を支えてくれる周りの方々への感謝を常に忘れず、ひたすら努力を重ねて夢の実現を目指していきたいです。



### Information

#### ◆ 後援会定例評議員会

6月29日(土)ホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会是在学生の父母等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から117名の方に出席いただきました。

議事においては、(1)2012年度事業報告および決算報告について(2)役員を選任について(3)2013年度事業計画および予算について決議され、2013年度の事業内容として、9月28日(土)名古屋・瀬戸両キャンパスにおいて第41回「父母の集い」を開催することが決定されました。



後援会Webページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>

後援会貸借対照表 2013年3月31日現在 (単位:円)

借方	貸方
預金 147,363,976	課外活動援助基金 103,622,296
	事故対策基金 41,142,920
	次期繰越金 2,598,760
合計 147,363,976	合計 147,363,976

#### ◆ 友の会評議員会・総会

7月17日(水)ホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学を支援する地域社会の一般および法人会員によって組織されており、本年3月31日現在の会員数は一般会員264名、法人会員109社となっています。

総会では、(1)2012年度事業報告および決算報告について(2)役員を選任について(3)2013年度事業計画および予算について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の派遣奨学生も参加させていただき、安井義博会長より奨学生採用通知書が授与されました。また、その後行われた懇親会の席においても、留学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。

#### 寄付者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。  
株式会社クリエイティブエージェンシー 伊藤康生様  
代表取締役 羽賀嘉裕様 岡田幸男様  
南山大学同窓会様 武田正博様  
株式会社名古屋銀行様



## 南山大学

発行 学長室  
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18  
Phone: 052-832-3113(直通)  
E-mail: gaku-koho@nanzan-u.ac.jp  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

#### 後援会収支計算書および予算書 (単位:円)

科目	2012年度決算	2013年度予算
収入の部		
前期繰越金	1,898,544	2,598,760
入金	2,337,000	2,222,000
会費	184,460,000	178,555,000
預金利息	0	0
基金運用利息	278,329	143,000
合計	188,973,873	183,518,760
支出の部		
教育・研究活動等支援助金	173,000,000	168,000,000
留学生支援活動助費	(76,439,000)	(74,664,000)
教育研究図書援助費	(47,561,000)	(45,336,000)
広報活動助費	(10,000,000)	(10,000,000)
課外活動助費	(32,000,000)	(30,000,000)
就職指導活動費	(7,000,000)	(8,000,000)
後援会活動費	9,096,784	9,415,000
父母の集い	(1,608,869)	(1,615,000)
就職活動助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,258,597)	(5,420,000)
事務費	(1,029,318)	(1,180,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
課外活動援助基金積立利息	196,207	102,000
事故対策基金積立利息	82,122	41,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	2,598,760	1,560,760
合計	188,973,873	183,518,760

《基金内訳》 (単位:円)

課外活動援助基金	事故対策基金
前期繰越金 99,426,089	前期繰越金 41,060,798
当年度積立金 4,000,000	当年度積立金 0
運用利息 196,207	運用利息 82,122
合計 103,622,296	合計 41,142,920



南山大学友の会会員募集中  
南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。  
【年会費】一般会員 1口 10,000円 法人会員 1口 30,000円 ※何口でもお申込みいただけます。  
友の会Webページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/tomonakai/index.html>

大羽正己様  
神賀英雄様  
菟田晶彦様

2013年6月30日発行の「NANZAN bulletin vol.185」におきまして、氏名記載に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。  
◆学位 (誤)大庭引継 講師 (正)大庭弘継 講師

# NANZAN bulletin vol.186

2013.9.30

## 南山大学



### 就職座談会



### 集団間の争いの理論

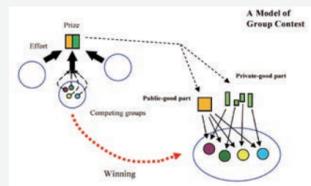
上田 薫

ここ数年にわたって私の研究の中心になっているのは、集団コンテストの理論です。コンテスト理論は利権や権限の獲得を目指す競合過程を分析するもので、企業内昇進、国際大会の開催権、許認可や補助金の獲得競争から武力紛争まで、広範な問題を考察する際の理論的基礎になっています。そうした競合の多くは集団を単位とした形で発生しますが、集団コンテスト理論はこの特徴を明示的に考慮した分析を行うものとするものです。私自身の最近の成果は、他の集団に比べて費用面で劣勢にある集団ほど、成果主義に傾いた報酬制度を採用しようとする傾向および集団内での利権の分配を不平等にしようとする傾向を持つ点を示したことです。集団の競合過程と個人間での競合過程のどこが異なるか、競合においてある集団が有利にする要因は何かなど他にも考えるべきトピックスは多く、今後も研究を深めていきたい、興味深い分野だと考えています。

うえだ・かおる  
経済学部  
経済学科 教授



### 私の研究



集団コンテストの概念図: 複数の集団がある利権(Prize)をめくり獲得のための努力を投入し合う。利権は勝利集団の構成員に無条件で発生する公共的部分(Public-good part)と、個別に分配される私的財部分(Private-good part)から成る。後者の分配のあり方が構成員たちの努力に影響を与える。

### 現実の問題を解決するための数学

福岡 雅夫

私は南山大学には今年着任したばかりですが、これまで大学教員として、そして研究者として、約40年にわたって「数理最適化」というテーマに関わってきました。数理最適化とは、現実のさまざまな問題を論理的に捉え、合理的な解決策を見出すための数学ということが出来ます。数理最適化は「オペレーションズ・リサーチ」と呼ばれる問題解決のための方法を取り扱う研究分野のなかでも中心的な役割を担う分野であり、企業における意思決定や計画の立案のような大規模な問題から、個人が使うパソコンやスマートフォンのアプリなど身近なものにいたるまで、さまざまな場面で活用されています。数理最適化では、問題のポイントを整理して数学モデルを作成し(モデリング)、そのモデルの特性を考慮した適切な方法(アルゴリズム)を用いて解を求める、という手順を踏みますが、実際の

ふくしま・まさお  
情報理工学部  
情報システム数理学科 教授



### 私のクラス

問題解決にあたっては、モデリングやアルゴリズムの基礎を踏まえた上で、問題全体を見渡せる広い視野をもつことが求められます。

そのような数理最適化の方法を学ぶことは、まさに現代の社会が求めている論理的思考力と問題解決能力を身に付けるということに他なりません。「私のクラス」を通して、学生の一人一人が社会人としての「基礎力」を養っていただけることを願っています。



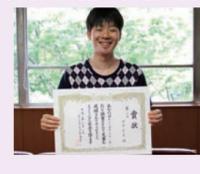
授業風景

### 活躍する南山大生の声

#### 精神力を鍛えて全国大会に挑戦

田中 景季 (経済学部経済学科 3年)

私は小さい頃から将棋に興味を持ち、小学生の頃から習い始めました。勉強との両立は大変ですが、将棋を指すことで様々な年齢層の方とコミュニケーションがとれるのが魅力的で、より多くの人と対戦して勝利したいという思いから毎日コツコツと練習を続けてきました。今回、全日本学生将棋連盟主催の第69回学生名人戦(2013年6月開催)に出場し、3位入賞を果たすことができました。大学生大会のレベルはとて高く、毎日のように将棋を指し練習を重ねても、試合が終わるま



# 就職座談会



2013年度の就活戦線をみごとに乗り越え、志望先から内定を獲得した学生3人に、それぞれの「就活」を振り返っていただきました。

## 一就職活動をスタートさせた時期は？

**加藤** 1学年先輩方が筆記試験や面接に追われ、企業説明会の広告が目につようになった3年生の初め頃、就職を意識するようになりました。実際に就職活動をスタートさせたのは、12月1日の合同説明会から。口火を切ったというか、そこから一気に走り出した感じですね。

**濱口** 私はチアリーダー部の活動が忙しかつたので、就活に本格的に取り組むようになったのは、部を引退した3年生の12月中旬以降です。就活対策講座が3年生の6月に始まり、ずっと気にはしていましたが、夏休み中も部活に没頭していました。

**高木** 研究室でプログラミングコンテストに挑戦していたので、僕は濱口さんよりさらに遅れて今年の10月に入ってから。ただ昨年の夏休み中、3週間ほどインターンシップに参加して、企業研究に取り組みました。自分が大学院を出て、これから社会でどう役に立てるか。特に規模の大きな企業で確かもめておきたい気持ちがあったんです。じつは内定先はインターンシップでお世話になった企業です。人事の方と細かくお話しするチャンスは掴みませんでした。企業をより深く知る意味でプラスになったと思います。

## 一選考にむけて準備したことは何ですか？

**加藤** まずは自己分析ですね。書類選考でも面接でも、自己PRのページになる部分ですので、ここはしっかり取り組みました。僕は「サッカー」「アルバイト」「学業」と大きなテーマを3つあげて、それぞれ小1時間くらいは話せるよう、またどの角度から突っ込まれても大丈夫なように練り上げてきました。

**濱口** 自分のことって、自分自身じゃわからないことが多いじゃないですか？私は友人から「他己分析シート」をもらって、それを部活のメンバーみんなで書きあい、長所短所をそれぞれあげました。自分が部活でどういう役割を果たしていたのかよく分かり、うま自己PRにつなげることができました。

**加藤** 僕も友達を巻きこんでの総力戦というか、常に意見交換し、赤裸々に語りあがりながら自己分析を深めていった感じですね。たとえば、何事にもこつこつ取り組めるのは勤勉さの表れだと自分では思っていたんですが、裏を返せば、「閉じてこつこつ、自分一人で進

めよう」と友達から短所として指摘を受けたりしました。そんな自分の弱点を知ること大切ですね。  
**高木** 僕は大学の教授、先輩に相談しながら自己分析を進めました。これまでの学生生活を振り返り、自分が取り組んできたことを列挙し、先輩や先生方と相談しながらエピソードを選んでいった感じですね。それを各企業が求める人材像を意識しながら共通項を探し出し、履歴書やエントリーシートの自己PR欄にまとめていきました。

## 一模擬試験(SPI)対策は？

**加藤** 僕の受けた金融機関では、あまり重視されていた印象はなかったですね。その後、自分で業界研究を進めるきっかけになりました。内容も濃く、高いモチベーションを維持できる環境の中に身を置くことができました。

**高木** 自分の場合、SPI対策も出遅れてしまい、初めて受けた筆記テストでは受からず。いきなりこまされたので、すぐにテキストを買って勉強しました。そろそろ面接も始まっていた時期で、同時進行で勉強するのはさすがに大変でしたね。

**濱口** 私らも授業の空き時間にSPIのテキストを開くようにしていましたが、就活が進むにつれて、真剣に取り組むようになりました。SPIでかなり落とされるという情報もあったので、気が抜けませんでした。

## 一企業選びのコツは？

**高木** 僕自身は、これまで自分が取り組んできた研究や専門的な学びをどう生かすか、というところを軸に理系、IT系に照準をあてました。とはいえエントリーは60社、実際にエントリーシートを提出したのは30社ぐら

## PROFILE

**高木 裕之**さん  
数値情報研究科 数値情報専攻2年生  
内定先：株式会社日立製作所  
用意周到に、コンコン準備を整えてきました。やるだけやったらこそ、大企業でもよく、面接に臨むことができました。今、与えられた土俵の大きさに武者震いします。

**濱口 里映奈**さん  
人文学部心理人文学科4年生  
内定先：株式会社デンソー  
大学生活の中で一番力を入れてきたチアリーダー部の経験、先輩方や仲間のおかげで、納得のいい就職活動が出来ました。

い。業種を絞り込んだ分、規模の大きさに関係なく、とにかく出せるところは出していこうという作戦でした。  
**加藤** 僕もゼミで学んだことの延長線上から就職を考え、金融機関はほぼ1本に。そしてもう一つ、銀行や証券などの金融機関に勤める身内が多く、「働き方」「やりがい」もよくわかっていて、というも大きな理由です。実際に働いてみて就職先を決められるわけではないので、入社後のギャップの少なさも僕にとっては重要なポイントです。

**濱口** 私は2人とは逆で、自分が何が向いていて、どんな仕事に合っているかわからず、プライダル、金融、メーカー、商社…いろいろな業種を検討しました。プレエントリーした企業は90社以上。そこから会社説明会やOG訪問を通して、少しずつ興味のある分野を絞り込み、最終的に25社にエントリーしました。それでもさすがにエントリーシートを書くのが嫌になってしまうこともありましたが(笑)。

**加藤** 特に2月下旬はエントリーシートラッシュの時期です。特々、書いても書いても書き終わらず、モチベーションがぐっと落ちることもありましたが、その一方で書類審査に通過し、一喜一憂したことを思い出します。

## 一大学のサポートはいかがでしたか？

**濱口** キャリア支援室の方には、親身に相談に乗っていただきましたし、エントリーシートの添削も丁寧にアドバイスをいただきました。中には5、6回も書き直したエントリーシートもありました。先生や先生方と相談しながらエピソードを選んでいった感じですね。それを各企業が求める人材像を意識しながら共通項を探し出し、履歴書やエントリーシートの自己PR欄にまとめていきました。

**高木** じつはこれは僕の失敗談ですが、会社説明会に出ないとか進めない企業があることを知らず、焦ったことがあって…  
**加藤** そうそう、ありますね。会社説明会に出席しないとかエントリーシートが貰えない企業とか。エントリーの仕方によって企業によってマチマチだから、ある程度、方向性が定まっているのであれば、先輩の「就職活動体験記」なんか目を通しておくと、就活の流れも掴みやすいかもしれません。

**濱口** 先輩の体験記は面接で聞かれたこととか具体的に細かく書いてあるので、すぐ参考になりますよね。  
**高木** 2016年卒採用から、就職開始時期が後ろ倒しになるようだけれど、「まだ大丈夫」なんて、のんびり構えているというだけのことになるかも？まだ先のことはわからないけれど、いざという時に慌てないために、早め早めの情報収集が大切ですね。

**濱口** 就活は一人っきりですると、限界を感じる時もあると思うんです。ですから、キャリア支援室や先輩な

どには積極的に相談し、頑張ってる乗り切りたいと思えます。  
**高木** それから、特にものづくり中部地区において「南山大学」のネームバリューは圧倒的。東京・大阪でも手こたえを感じましたし、胸を張って渡り合える大学だと改めて思いました。

## 一あなたの「必勝キーワード」とは、ずばり！

**加藤** 大学生活を振り返ると、ゼミ長を務めたわけでもないですし、これといった強みも持っていない気がしていましたが、「自分をきちんと見つめれば、アピールすべきことが必ずある」というキャリア支援室のアドバイスに安心感を与えてもらった気がします。その上で、しっかり自己分析にも取り組みましたが、面接やグループワークに備えて、もっとうまく自己表現できたいか、一緒にやって追ってきた仲間が存在が、僕にとっての成功の秘訣かもしれません。

**高木** 能動的にいかにか動けるか、ということ以外に、大きなIT企業ではとくにチームワーク力が求められる時代。プログラミングコンテストもそうでしたが、大学祭で企画を立ち上げ、その時、自分はどういう立ち位置で、どんなふうに関わりたいか。そこをうまくアピールできたことが結果につながったと思っています。

**加藤** 全国大会で優勝したとか、特別な結果がなくとも自分なりに一生懸命取り組めれば、そのプロセスの段階で話せることが沢山ありますよ。  
**高木** 逆に失敗を踏まえて、その後の成長の過程を話すとか…。僕自身、大学3年生の頃、プログラミングでは相当、失敗を重ねてきたので(笑)。

**濱口** 毎日、部活に取り組んできた私にとって、大学生活=部活でしたので、そこで努力してきたことをアピールしましたが、アルバイトでも何でも一生懸命になれるものに出合えば、自己PRにつながるものも見つかると思います。

## 一最後に、後輩へのアドバイスをお願いします

**高木** 大学1、2年生は友達を作ること！友達と話すごとで見えてくるものもあるはずですよ。3年生なら何か一つのことに取り組んでみると、人前で語れる経験も積めると思いますよ。  
**濱口** そうですね。1、2年生のうちから、就職のことで頭をいっぱいにするより、もっと打ち込めることに頑張りたいと思います。3年生で自分が何をすればいいのか分からない、という場合は、セミナーに参加する方法もありますし、SPIから手をつけてもいいかもしれません。  
**加藤** 就職活動は知力、情報力、体力も必要です。話づくりとという戦略的に考えることで、時間の余裕が手に入り、人話し、多くの経験を積んでおくことで引き出しも増えると思います。何かに挑戦しようと思ったらすぐに動く。まずはそんなことを心がけて欲しいですね。

# 2012年度決算・2013年度予算について

2012年度事業は、ランドデザインにおけるキープレーズ「個の力を、世界の力に。」をふまえて、2011年度に引き続き国際化推進を最重要課題と位置づけ実施しました。国際化推進の拠点として、R棟(新校舎)に英語教育センター、ワールドプラザ、国際教育センターが移設され、新たにジャンプラザもオープンし、「国際科目群」の運用開始、外国人留学生別科におけるサマープログラムの実施など、様々な取り組みが始まっています。また、500名収容のフットボールホールを整備され、オープンキャンパス、父母の集いなどの行事や、各種講演会・研究会など、諸活動に利用されています。さらに2013年10月5日にR棟地下1階に人類学博物館新館がオープンします。省エネへの取り組みとして、大学内照明のLED化が検討され、2012年4月から外灯および一部建物内をLED化して検証を進めてきました。その検証結果に基づき、2013年度に省エネ対策として教室、研究室、事務室などにLED照明を積極的に利用することとしました。施設・設備面について、南山大学は1949年に設立された後、1964年4月に現在の名古屋キャンパスに移転して50年が経過しました。建物の老朽化や本学が置かれた社会的情勢を踏まえ、キャンパスのあり方(瀬戸キャンパス移転を含む)について具体的に検討を進めました。本学では、「NANZAN bulletin」「南山大学概要」「南山大学公式webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めています。今回は、2012年度決算および2013年度予算について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

## 2012年度決算について

【南山大学】  
第1表は、資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。収入の部の前年度繰越支払資金(30,836百万円)と、支出の部の次年度繰越支払資金(31,950百万円)の差額は1,114百万円であり、これが2012年度の諸活動による資金の増加額です。  
収入のうち、学生納付金収入、手数料収入、補助金収入、事業収入が予算額に対して決算額が減少となりました。主な理由は、2012年4月入学者数が予算額を想定した入学者数に至らなかったこと、海外実習など各種実習の参加者が想定数より減少したことにより、学生納付金収入は14百万円の減少となりました。受験者数については、2013年度入試から新たに「全学統一入試」方式を採用したことにより、2013年度入試(2012年度収入)は24,086名となり、2012年度入試(2011年度収入)の20,802名と比較すると3,284名増加となりました。補助金収入では「学生納付金と教育研究経費による調整基準の増減率」の変動により63百万円の減少となりました。  
資産売却差額、資産運用収入、雑収入が予算額に対して決算額が増加となりました。資産売却差額は、南山短期大学所属の土地の売却、資産運用収入は、経済情勢の回復傾向による有価証券等の運用収入増加により、それぞれ決算額が増加しました。  
一方、支出面では人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出も予算額内で執行しました。その中で、2013年度オープンに向けた人類学博物館リニューアル事業や国際化推進事業などを含め、可能な限り教育・研究環境の充実にも努めました。なお、例年、南山大学の設立母体である神言修道会から、本学に勤務す

る神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2012年度は総額49百万円の援助があり、パハハ研究奨励金等の原資として充当しました。  
第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顔末を表しているのに対し、第2表の消費収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを示すための収支状況を表しています。帰属収入(負債とはならない収入13,938百万円)から、基本金組入額(設備投資等に充当される額1,278百万円)を控除した残額を消費収入といひ(12,659百万円)との消費収入と、純資産の減少をたらず消費支出(12,109百万円)との差額550百万円が、当年度消費収入超過額となりました。前年度繰越消費収入超過額2,980百万円と合せて、翌年度繰越消費収入超過額は3,306百万円となりました。

第3表の貸借対照表は、2013年3月31日現在における総資産、負債、自己資金(基本金+翌年度繰越消費収支差額)の状態を表わっており、総資産=負債+自己資金(基本金+翌年度繰越消費収支差額)となります。資産の部では、有形固定資産が建物・構築物等の減価償却などにより163百万円減少、その他の固定資産が987百万円増加したことにより固定資産は824百万円増加しました。さらに現金預金等の増加により流動資産が1,244百万円増加しました。この結果、総資産は2,068百万円増加となりました。他方、負債が239百万円増加となりました。基本金が1,278百万円増加したことと、翌年度繰越消費収入超過額が550百万円増加したことにより、自己資金は1,282百万円増加となりました。これにより負債と自己資金の合計は2,068百万円の増加となりました。

## 2013年度予算について

【南山大学】  
2013年度予算において、学生納付金は前年度に引き続き据え置きとしました。本学においては帰属収入の79.7%が学生納付金であり、大幅な増収は望めないため、補助金・寄付金などの外部資金獲得のため更なる努力を続けていく所存です。2013年度は、2012年度から継続事業である「人類学博物館リニューアル事業」や「国際化推進事業の充実」等に取り組まします。2013年度の主な事業計画は以下のとおりです。  
1.人類学博物館リニューアル事業  
2013年10月にR棟地下にオープンします。新しい人類学博物館は、全ての人々が好奇心を掻き立てるように、展示品を手に取り、関心に感じることができるよう「ユニバーサルミュージアム」を実現します。  
2.南山大学国際化推進事業  
英語で講義する科目を体系化した「国際科目群」や外国人留学生別科サマープログラムをさらに充実させます。  
3.学内環境整備事業  
名古屋キャンパスにおけるPC教室のPC整備、マルチメディア教室の機器整備、瀬戸キャンパスにおける語学教育システムの整備、教育研究情報ネットワークの整備、などの環境整備事業を順次進めていきます。  
4.省エネ対策事業  
2012年4月に導入した外灯および一部建物内のLED化の検証結果に基づき、全学的に照明機器のLED化を進めます。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、従来から財務改善に努めるとともに、財務状況を広く公表しており、引き続きこの方針を維持していく所存です。今後ともご理解、ご支援をお願いいたします。  
(大学事務部長 沢口定雄)

## 南山大学

支出の部		収入の部			
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
人件費支出(教員人件費)	7,214,237	6,943,390	学生納付金収入(授業料)	10,725,143	10,710,977
(職員人件費)	(4,984,686)	(4,775,337)	(入学金)	(7,421,153)	(7,416,553)
(退職金)	(1,663,581)	(1,568,213)	(実習実習料)	(1,183,000)	(1,183,010)
教育研究経費支出	(569,840)	(599,840)	(施設設備費)	(110,369)	(101,689)
管理経費支出	2,743,525	2,539,224	(教育実習料)	(3,554)	(3,531)
借入金等利息支出	750,784	731,651	(施設設備費)	(2,007,067)	(2,006,194)
借入金等返済支出	60,387	60,383	手数料収入	823,429	785,244
施設関係支出	96,780	96,780	(入学検定料)	(708,709)	(670,474)
設備関係支出	538,171	566,694	(その他の手数料)	(114,720)	(115,170)
資産運用支出	186,708	166,719	寄付金収入	246,135	247,468
その他の支出	1,050,000	1,050,000	補助金収入	1,179,146	1,116,072
法人本部費配賦額	2,297,315	2,293,348	資産運用収入	72,536	72,536
資金支出調整勘定	519,630	518,605	資産売却収入	30	62,548
次年度繰越支払資金	△541,130	△551,898	事業収入	212,279	195,138
	31,530,398	31,950,842	雑収入	452,363	478,785
			借入金収入	0	0
			前受金収入	2,353,271	2,251,788
			その他の収入	2,339,839	2,364,265
			資金収入調整勘定	△2,793,978	△2,843,127
			前年度繰越支払資金	30,836,612	30,836,612
支出の部合計	46,446,805	46,365,738	収入の部合計	46,446,805	46,365,738

(注) 予算額は補正予算額。

消費支出の部		消費収入の部			
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
人件費	7,409,837	7,149,561	学生納付金	10,725,143	10,710,977
教育研究経費	3,751,527	3,543,980	手数料	823,429	785,244
(内、減価償却額)	(1,008,000)	(1,004,550)	寄付金	423,001	425,401
管理経費	864,249	841,233	補助金	1,179,146	1,116,072
(内、減価償却額)	(113,450)	(111,119)	資産運用収入	72,536	72,536
借入金等利息	60,387	60,383	資産売却差額	1	46,829
資産処分差額	16,600	12,054	事業収入	212,279	195,138
徴収不能引当金繰入額	0	164	雑収入	469,279	498,470
法人本部費配賦額	501,669	500,644	帰属収入合計	13,904,814	13,938,099
			基本金組入額合計	△1,306,352	△1,278,221
消費支出の部合計	12,604,269	12,108,929	消費収入の部合計	12,598,462	12,659,878
当年度消費収入(△支出)超過額	△5,807	550,949			
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	2,979,716	2,979,716			
基本金取崩額	0	0			
翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	2,973,909	3,306,665			

(注) 予算額は補正予算額。

資産の部		負債の部		増減			
科目	2012年度末	2011年度末	科目	2012年度末	2011年度末		
固定資産	32,824,308	32,000,087	824,221	固定負債	5,420,550	5,156,707	263,843
有形固定資産	26,283,052	26,446,592	△163,540	長期借入金	2,919,610	3,113,220	△193,610
土地	3,581,485	3,117,151	464,334	退職給付引当金	1,996,093	1,806,639	189,454
建物	15,482,537	16,175,912	△693,375	長期預り金	233,480	229,167	4,313
構築物	555,838	645,765	△89,927	長期未払金	271,367	7,681	263,686
教育研究用機器備品	386,740	451,038	△64,298	流動負債	3,096,612	3,120,903	△24,291
その他の機器備品	11,685	16,781	△5,096	短期借入金	193,610	96,780	96,830
図書	6,114,960	6,018,466	96,494	未払金	228,663	219,437	9,226
車両	3,749	7,619	△3,870	前受金	2,251,788	2,393,346	△141,558
建設仮勘定	146,058	13,860	132,198	預り金	422,551	411,340	11,211
その他の固定資産	6,541,256	5,553,495	987,761	負債の部合計	8,517,162	8,277,610	239,552
電話加入権	6,301	6,301	0	基本金の部			
施設利用権	2,171	2,171	0	第1号基本金	40,336,622	40,059,654	276,968
長期貸付金	258,402	270,099	△11,697	第2号基本金	5,882,670	4,882,670	1,000,000
入保証券金	440	440	0	第3号基本金	6,184,593	6,183,340	1,253
ソフトウェア	201,272	251,814	△50,542	第4号基本金	844,400	844,400	0
退職給付引当特定資産	140,000	140,000	0	基本金の部合計	53,248,285	51,970,064	1,278,221
南山大学名古屋C施設整備費	3,982,670	3,282,670	700,000	消費収支差額の部			
南山大学名古屋C施設整備費	1,900,000	1,600,000	300,000	翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	3,306,665	2,979,716	550,949
南山大学名古屋C施設整備費充引当預金	50,000	0	50,000	消費収支差額の部合計	3,306,665	2,979,716	550,949
流動資産	32,471,804	31,227,303	1,244,501				
現金預金	31,950,842	30,836,612	1,114,230				
未収入金	450,981	327,196	123,785				
立替金	1,050	1,411	△361				
前払金	66,029	59,550	6,479				
貯蔵品	2,902	2,534	368				
資産の部合計	65,296,112	63,227,390	2,068,722				
				負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計	65,296,112	63,227,390	2,068,722

## 第4表 財務比率 消費収支関連

比率	計算式	南山大学		他大学		評価
		2010年度	2011年度	2012年度	2011年度	
人件費比率	人件費/帰属収入	50.4%	50.8%	51.3%	52.9%	↓
人件費依存率	人件費/学生納付金	63.7%	64.6%	66.7%	64.4%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	26.4%	26.3%	25.4%	30.9%	↑
管理経費比率	管理経費/帰属収入	6.9%	6.7%	6.0%	8.3%	↓
借入金						